



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年10月2日号

編集 / 毎日新聞社カスタマーリレーション本部



## 「外食のレジェンド」の信念 2日(日)=1、3面

外食産業で有名な経営者がいます。80代の横川 竟(きわむ)さん=写真=という方です。名前は知らなくても1970年に日本初のファミリーレストラン「スカイラーク」(後にすかいらーく)を始めた経営者と説明すれば多くの方はうなずく

しょう。横川さんはチェーン店を全国に展開し、日本の外食産業に大きな刺激をもたらしました。しかし、経営悪化の責任を取って2008年にグループを追われました。それでも最前線に立ち続けました。今では「カフェ」と呼ぶ

「高倉町珈琲」を展開しています。横川さんはこう言います。「この店は脱ファミレスで作った」と。ファミレスを誕生させた経営者の信念、そして現在描いている戦略に迫ります。

## 特集 **ワイド** 作家・高村薫さん「よりよく生きるしかない」

4日(火)=夕刊特集ワイド

作家の高村薫さん=写真=は安倍晋三元首相が銃撃され死亡した事件が日本社会に与えた影響を考える中で、絶望的な世相を乗り越える道はあるのかと思案を続けています。そうした中で「よりよく

生きるしかない」との考えに至ったといいます。高村さんが挙げたのが、興味のなかったような小さな新聞記事に目を通すこと。「善き人」になろうとの考えに「老い」が影響しているともいいます。



## 論点 移住を考える

東京などの大都市から地方に移住する人が増えていきます。20代、30代の若い世代も多く、支援活動をする「ふるさと回帰支援センター」(東京都千代田区)によると、2021年の相談件数は4万9500件を越え、過去最高でした。

新型コロナウイルス禍を機にテレワークが広がり、住む場所を自由に選べるようになったことなどが大きいようです。ただ、さまざまな課題もあります。現状と問題点を体験者や専門家に聞きました。

7日(金) || オピニオン面

## 🔍 スコープ 変わる「経済圏」

6日(木)=オピニオン面

アジア太平洋地域の各国が経済的つながりを深める「経済圏」が大きく変わろうとしています。

従来は貿易自由化が柱でしたが、米中対立やウクライナ危機を契機に安全保障の論理が前面に出てきました。

中国に対抗するため、米国が主導して創設した「インド太平洋経済枠組み」(IPEF)です。

日本やインド、東南アジア各国など14カ国が参加しています。経済や安全保障にどのような影響を及ぼすのかを分析します。

新毎日

150  
2022年2月21日  
毎日新聞創刊150年

(齋藤有香)

10月26日から朝刊「月刊のん」の連載「月刊のん」がスタートします。打ち合わせで会いたのんさんは、終始気さくな雰囲気ですが、自分の考えを言葉にする時は少しくつむき、言葉を真摯に紡ぐ姿が印象的でした。仕事や日常を通してのんさんが感じたコラムを読めるのは毎日新聞だけ。CMの第2弾「のんと毎日新聞劇場客席篇」も1日に公開されており、特設サイトとともに、お見逃しなく！

